

# さけ・ます漁業振興事業調査（サケ関係）

（抄 録）

菊 谷 尚 久

## 沿 岸 漁 獲

1. 1997年漁期の沿岸回帰サケ親魚の旬別の沿岸漁獲量を集計した。

### 青森県におけるサケ親魚の回帰変動

1. 1984年から1997年までの旬別の沿岸漁獲尾数を用い海域別に主成分分析を行った。
2. 海域別に求められた主成分を用いて、各海域におけるサケ回帰資源の変動傾向について検討した。  
また、固有ベクトルの値から前期回帰群と後期回帰群とに区分し、その変動傾向について検討した。
3. 太平洋では、沿岸回帰資源、河川遡上資源ともに増大傾向にあるものの、日本海では沿岸回帰資源は減少傾向、河川遡上資源は増大傾向にあることが明らかとなった。

### 沿岸環境調査（太平洋におけるサケ回帰親魚の環境調査）

1. 1997年9月から12月の期間中、試験船「開運丸」によるC D T観測を実施した。
2. 観測を実施した9月から12月における青森県太平洋沿岸の親潮系水の勢力は短期的に大きく変動しており、11月には9、10月に比べ勢力が強まったが、12月では9、10月よりも弱勢状態になったものと考えられた。

## 移 動 分 布 調 査

1. 1997年4月から5月にかけて、青森県日本海、津軽海峡沿岸及び陸奥湾口部において、サケ幼稚魚の分布、成長及び移動に関する調査を行った。
2. 鰺ヶ沢前沖でのサケ幼稚魚の分布は、昨年同様表面水温12℃以上で分布密度が極端に少なくなっていた。また、分布密度は沿岸寄りで大きい傾向にあった。
3. 各海域で採集されたサケ幼稚魚の平均尾叉長は、鰺ヶ沢漁港内44.0～58.6mm、鰺ヶ沢沖50.5～62.3mm、小泊沖55.9～81.0mm、今別沖67.4～86.9mm、佐井沖68.9～84.5mm、脇野沢沖80.6～117.7mmであった。

4. 標識放流は1997年4月2日に、L群111,350尾（FL59.6mm）、S群153,529尾（FL48.2mm）を赤石川サケ・マスふ化場より行った。再捕尾数は、L群37尾、S群52尾であり、海域別では、鱒ヶ沢漁港内4尾、鱒ヶ沢沖42尾、小泊沖41尾、今別沖1尾、佐井沖1尾であった。
5. 日本海沿岸域におけるサケ稚魚の移動生態と体サイズとの関係が明らかとなった。また、標識魚の再捕の状況から、赤石川から放流されたサケ稚魚の一部は津軽海峡沿いに移動し、太平洋に移動している可能性が考えられた。

#### 環境調査（日本海における放流稚魚の環境調査）

1. 1997年3月から5月にかけて、鱒ヶ沢町における毎日の表面水温及び塩分を測定した。また、大戸瀬地先の水深25m地点に記録式MD S水温計を設置し、表層水温を連続して観測した。